

【議事録】

■案件名： PARK-PFI「桃山公園」の魅力向上事業

■会議名： 第10回 桃山公園ミーティング

■日時：2025年3月28日(金) 15:30 ~ 17:00

■場所：桃山台市民ホール（2階）

■参加者(敬称略)

(学識経験者)大阪公立大学 緑地環境科学専攻 松尾准教授

(桃山台自治団体協議会)小山

(ブランド桃山台)中野

(桃山公園を守る会)田中

(桃山公園クラブ)稲山

(桃山台小学校PTA)中村

(吹田市 公園みどり室)川本、森木、水永

(指定管理者)グリーンホスピタルサプライ桃山公園

白石、清水、田中、野田

(傍聴席)

里見、浅井、池田、森、今川、伊藤(隆)、林、伊藤(泰)、梅垣

■記録者：清水(指定管理者)

■資料：第10回桃山公園ミーティング 次第
パークマネジメントプラン運用について

1. これまでの振り返り

【説明：グリーンホスピタルサプライ桃山公園 田中】

- ・これまでの桃山公園ミーティングの振り返り
- ・目指すべき姿について

2. 議題・今後について

(1) 樹木管理台帳について

(2) 竹林の管理について

(3) 鯉のぼりイベントについて

【説明：グリーンホスピタルサプライ桃山公園 田中】

【ご意見／ご質問】

A 委員：樹木管理台帳の取り組みは良いと思うが、どのように活用するのが一般的なのか。

<指定管理者>

桃山公園の樹木の状態を把握して生育に活用し、公園樹木の維持・管理に役立てる。

<松尾先生>

基本的には現状把握。老朽化して倒木事故などがないように活用するのが主。

<吹田市>

公園ができた当初の管理台帳はあるが、更新できていないのが現状。倒木などの危険がないかを確認する健全度を測るのが目的。次年度以降から公園外周だけでなく、園内の樹木についても調査を実施していく予定。

A 委員：構成企業の川西造園は人数も少なく小さい会社だと伺った。樹木に関しては、市の方がプロであるし予算の問題もあるので、もっと市を頼った方がいいのでは。

<吹田市>

これまで市が行ってきた公園外周(道路際から 3m程)の健全度調査については、仕様書に含まれている。園内の樹木に関しては、これまでの協議会での協議の上で、指定管理者側にて行っている。今後指定管理者だけでは難しいことがあれば、協議会で方向性を決め、予算取りを行うことも考えられる。

<指定管理者>

4月以降は守る会様にも協力いただきながら、樹勢状況を見ていく予定。

B 委員：健全度を測ることはできないので、幹周の計測やメモを取るぐらいの協力となる。吹田市造園協同組合と共同で行うのではないのか。

<指定管理者>

我々もボランティアも素人であるので、幹周の計測や枯れているなど見てわかる情報を管理台帳としてまとめて、協議会や市とも相談しながら、さらに調査が必要だとか、予算が必要だとかの方向性を決められたらと思う。吹田市造園協同組合とは仕様書に基づいた公園外周の樹木健全度調査を行うものであり、園内の管理台帳を作るものとは異なる。

A 委員：テレビで森林組合が子どもたちに実際に森林に触れてもらい、大切さや維持について理解してもらうような取り組みがあった。桃山公園でも子どもたちなど多世代と一緒に活動するなど考えはないのか。

<指定管理者>

樹木管理台帳の作成ではなく、ごみ拾いのような身近な活動から始めたいと考えている。

A 委員：児童心理学的に下の方の目線だけでなく、上の方の目線を見せてあげる方が大切。

B 委員：以前の協議会では子どもたちと一緒に木の数を数えるようなイベントを考えられていたと認識している。管理台帳の作成については安全面だけでなく、老木管理など中長期的に活用し、公園の樹木の維持してほしい。

また、以前の協議会の中での発言を訂正したい。池の島の草刈りを行わないでほしいと発言したが、葦(アシ)は1年に一回秋に刈った方がより新芽が出やすくなることがわかったため、秋の除草時に刈ってほしい。野草・雑草は野鳥のために残してほしい。

(4) 水栓について

【説明：吹田市 公園みどり室 川本】

・市で予算申請が認められたため、2025年度4月以降から図面・積算などに着手する。

(5) 遊具設置について

【説明：グリーンホスピタルサプライ桃山公園 田中】

・2023年11月実施済みの桃山台小学校の生徒・保護者のアンケートについて
・自治団体協議会/桃山台小学校 PTA/3丁目自治会からの要望について

【ご意見／ご質問】

C 委員：幼児・児童数も増えているので是非とも設置してほしい。

A 委員：そもそも送られてきた資料と異なるのはなぜか。協議会までに判断材料が揃っていないと困る。また、検討されている設置場所については斜面でもあるので危険。市の方で近くの遊園や公園と連携を検討できないものか。設置についてももう予算がついているのか。

<指定管理者>

今回は市の予算ではなく、匿名の寄付となる。

<松尾先生>

資料のまとめ方については、おっしゃる通り。遊具についても設置場所から再検討の余地があるということで、他の方の意見も伺いたい。

D 委員：新年度にあたり引継ぎ途中であるため、全保護者に意見が聞いているわけではないが、大きな反対はないのが現状。子どもたちも期待している。遊具の設置について寄付いただけるという情報は初めて知ったが、子どもを持つ親として非常にうれしく思う。A 委員が言うヒコーキ遊園は広くひらかれた桃山公園と違い住宅地の中にあることや路上駐車・立ち小便・喫煙など雰囲気が悪いため、子どもたちだけでは近づかせたり、遊ばせたりできる場所ではないと考えている。桃山公園の自然の中でブランコを漕いだりすることで、桃山公園に興味関心を持ってもらえれば、それは長い目で見たときに桃山公園の存続に繋がるのではないかと。どこの公園でも遊具における怪我や事故はありうるので、なんでもかんでもなしとするのはいかがなものか。

B 委員：遊具設置は反対。意見書も送ったが、これまで遊具設置の要望があったことも共有されておらず、驚いている。鯉のぼりイベントのときもそうだが、実施する意向だけ伝えられるのは協議会の場の意味をなさないのでは。自治団体協議会・小学校 PTA では遊具設置を賛成しているようだが、自然を守るという意味では反対。遊具がなくてもマラソン大会や虫取り、たんぽぽやしろつめ草を摘むなど自然でもっと遊んだり学んだりできると思う。50 年前の児童公園・遊園も配置されているので、他の公園も安心して遊べるように協力すればいいし、桃山公園はその児童公園・遊園にない自然を楽しめる場所になってほしい。寄付には驚いたが、今後も寄付だったら何でも受け入れるのか。

<松尾先生>

寄付があることについて、事前に共有できてなかったことは申し訳ないが、まずは寄付の有無に関係なく、遊具を設置することについて協議できればと思う。

C 委員：自治団体協議会も小学校 PTA から要望があるので、改めて考えてほしい。設置場所についても十分に安全性を考えてもらえればと思う。

<松尾先生>

意見をまとめると簡単にすぐに設置ということにはできないかと思うが、設置場所や設置予定の遊具の詳細についてこれまでの意見を踏まえてどうか。

<指定管理者>

意見をいただき、ありがとうございました。郵送した資料にて遊具を 5 月に設置と送付したが、今回の意見もふまえて内容を精査し、次回の協議会で結論を出せたらと思う。

E 委員：今現在小学校のブランコとすべり台は危険だということで撤去され、鉄棒しかない。桃山公園に設置したとしても親がついている状態でないと危険であり、夜中に子どもたちだけで遊んで怪我や事故があったら、誰が責任を取るのか考えなければならない。遊具は経年劣化や遊び方によっては金具が外れる危険がある。桃山公園に遊具を設置してもいいとは思いますが、原点に立って考え、万が一の責任問題まで考えておく必要がある。

A 委員：ブランズにも賛否があった。寄付やアンケート結果などの情報を踏まえたうえで改めて意見をまとめたい。

<指定管理者>

協議会の場で可否を出すのではなく意見を吸い上げる場であるので、遊具を設置する方向で進めていくにあたって、意見をいただいたという認識である。

B 委員：今日初めて知ったことがあるので、6 月の協議会でもう一度協議したい。

E 委員：まずは安全というものを第一に考えるべきである。

<吹田市>

学校で遊具を撤去しているのは、維持管理ができないためだと思う。公園では、年1回の法定点検を行っている。使用禁止になっているブランコがあるが、点検でチェーンが摩耗していたためである。E 委員が言われる責任問題について、遊具に瑕疵がある場合は設置者(吹田市)が正しく管理していなかったということで設置者の責任になるが、そうでなければ使用者の責任になる。

例えばブランコ設置についても、ある程度の平場が必要などの設置基準や安全基準がある。取り替え前に4連のブランコがついていたとしても、最新の設置・安全基準を満たすために2連のブランコに変更する場合もある。

D 委員：あの広い公園に遊具がないのはバランスが悪い。ブランコやすべり台に限らず安全な遊具を設置するのでもいい、子どもたちのシンボリックなものができたらいいと思う。

<松尾先生>

もし設置するとした場合、今日頂いた意見をどうクリアできるかを設置場所や遊具の詳細などを情報公開した上で次回協議できないか。

<指定管理者>

今回出た様々な意見を踏まえ、次回設置場所・工事時期・設置遊具等の話ができればと思う。

B 委員：場所とか設置する予定のものを具体的に教えてもらわないと不安。一度設置してしまうと20年以上設置し続けることになるので、安易に設置しないほしい。

3. 今後のスケジュール等

【説明：グリーンホスピタルサプライ桃山公園 田中】

・イベントスケジュール

・事前質問の回答

- ① 樹木管理台帳作成における幹周の計測に必要な人数は3～5名
- ② 清掃用具ロッカーについては継続案件として保留
- ③ 公園清掃ボランティア活動の機材充実について、新規購入は難しいが、パークセンターのものを貸し出すことは可能。スコップなどは大きさ等も不明確なので相談の上、柔軟に対応したい。
- ④ 公園の清掃や植栽のお手伝いをしたらポイントが貯まるような仕組みを考え、若い世代も取り組みやすくなるような活動を検討できればと思う。
- ⑤ 南東側入り口花壇 過去に作られた花壇を修繕したものであり、新設したものではない。

【ご意見／ご質問】

B 委員：清掃イベントに参加するかどうかは協議させていただきたい。

<指定管理者>

指定管理が主催となって開催するもので、参加を強制するものではない。

A 委員：イベントについては昨年と同様で結構。におい・音関係については今年も引き続き協力いただきたい。イベント告知も早めに共有いただければ、協力していきたい。

<指定管理者>

4/12(土)のイベントの詳細が決まり次第、連絡させていただく。

<傍聴人>

関西電力送配電の方がBDH(胸高直径)を計測していたのは知っているのか。

<松尾先生>

園内の樹木については専門家の意見も必要だということは一定の理解がある。まずは指定管理者ができる範囲で現状把握できるように動いている最中。

<傍聴人>

電線の関係で危険な樹木について既に調べているのに、それを知らずにやろうとしているのがおかしいと言っている。すぐに関西電力送配電に聞いて共有してもらうべき。

<傍聴人>

寄付はブランコの為の寄付なのか。基金にできるのか。

<松尾先生>

本日は時間がないので、一旦ここまでとしたい。次回以降、代表者においても意見を端的にまとめていただいてスムーズに協議が進むように協力いただきたい。

<傍聴人>

今回の論議のコアになる部分で正しい情報公開もしないで、正しい論議ができるわけがない。このままだと会社がダメになる。

<指定管理者>

会社まで悪く言う必要があるのか。

<傍聴人>

桃山公園は公的な場所であり、寄付があるからやりますと一方的に設置するのはおかしい。寄付があるだけ受け入れていたら、この公園は様変わりしてしまう。

<傍聴人>

仕様書の必須項目から遊具は外れたはずなのに、また遊具を設置するとはどういうことなのか。

<吹田市>

寄付はまず市が受けるので、決定権は市にある。なんでも受け入れるわけではない、公園に置けないものなどは寄付自体を受け入れない。皆さんの意見を踏まえて、最終的には市が判断する形になる。

<傍聴人>

いつの間にかパークセンターに寄贈のネームプレートが付いている。20年後にパークセンターも市のものになるのに。

<吹田市>

パークセンターは市のものではない。20年後協議の上、現況復旧する可能性もある。

<傍聴人>

あれは寄付者のものになるのか。

<吹田市>

公募対象公園施設の設置者のものになる。

<傍聴人>

寄贈のネームプレートだけ貼られても、なんと御礼したらいいのかわからない。

<指定管理者>

近所付き合いのところまではわかりかねる。

<松尾先生>

協議会で話す内容でもなくなってきたので、このあたりで終わりとしたい。

以上